

「加古川市胃検診集計結果についての観察研究」 について

加古川中央市民病院内科では、加古川総合保健センターと共同して、現在、加古川市胃検診（X線検診、胃がんリスク検診、内視鏡検診）を受診された方を対象に研究を実施しております。内容については下記の通りになっております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

加古川市では X 線による胃がん検診が従来行われてきましたが、胃がんの主な原因とされる *Helicobacter pylori*（以下、ピロリ菌）感染については判定されないため、胃がんリスクの高いピロリ菌現感染者でも病変がなければ「異常なし」との結果となり、胃がんリスクを低下させる除菌治療につながらない状況が続いていました。

そこで加古川市では 2015 年度より、ピロリ菌感染を考慮した新しい胃がん検診システムを開始しました。内容は、①簡便な血液検査（ピロリ菌抗体、ペプシノゲン検査）で行う胃がんリスク検診を導入、②X 線検診では従来通り胃がん疑いを「要精査」とするのに加え、判定にピロリ菌推定診断を導入し、現感染（現在感染している）や既感染（過去に感染していたが現在は無い）が疑われる場合も「要再検査」として受診をすすめる、③2017 年度から内視鏡検診も導入、というものです。胃がんリスク検診、X 線検診、内視鏡検診が選択可能であり、いずれの検査においてもピロリ菌感染状態を推定診断するようにしたことが特徴です。

その結果、新システムを開始した 2015 年度では検診受診者数は増加し、胃がん発見率は飛躍的に向上しました。こうして新しい加古川胃がん検診システム開始後の検診成績を年度ごとに集計・分析し、初年度からの動向を把握したうえで今後の胃がん検診システム改善の対策を練ることを目的といたします。こうして有用な胃がん検診システムを構築することにより、さらなる新規受診者数の増加、胃がん発見率の向上が期待できると考えております。

【研究期間】

研究の対象期間：西暦 2015 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

研究期間：病院長承認日～2024 年 3 月 31 日まで

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

加古川地区 1 市 2 町（加古川市・稲美町・播磨町）在住で、40 歳以上の胃 X 線検診受診者、18 歳以上の胃がんリスク検診受診者、50 歳以上の胃内視鏡検診受診者の検診結果データを集計いたします。

観察項目：受診者の性別・年齢、X 線検査判定結果、胃がんリスク検診判定結果、胃内視鏡検査結果、精密検査結果、除菌治療情報など

【個人情報保護の方法】

プライバシー保護の配慮のため、受診者の氏名や生年月日などの個人情報は識別できないよう

に、個人情報とは無関係の番号をつけて対応表が作成され、対応表は加古川総合保健センター内で厳重に管理されます。第三者にはその情報が誰のものか全くわからないようにして研究を進めます。個人情報を外部機関に提供することはありません。研究の結果を公表する際は、研究対象者個人が識別できる情報は含まれません。

[データおよび試料提供による利益・不利益]

利益：検診データの情報を用いており、データをご提供いただいた受診者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。

不利益：検診結果のデータのみ利用するため特にありません。

[登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて]

検診情報については、加古川総合保健センター内でセンターの規則に沿って厳重に保管されます。

[研究成果の公表について]

研究成果は学術目的のため論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

いつでも可能です。受診者さんのデータを用いられたくない場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取りやめの希望を受けた場合、それ以降、受診者さんのデータは本研究に用いることはありません。しかしながら同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように廃棄できない場合もあります。

[研究機関]

この研究は加古川総合保健センター胃腸部会を共同研究者として実施いたします。

[問い合わせ窓口]

この研究の問い合わせだけでなく、受診者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、受診者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 内科
研究責任者名： 鈴木 志保
連絡先：079-451-5500